



新しい取組

セラピードックで地域と交流

この度、自治会運営をサポートしてくれる『あつ活サポーター団体』に「公益財団法人住吉偕成会 すみよし生活支援センター」が加わりました。これにより、あつ活サポーターの登録数は16団体になりました。

すみよし生活支援センターではこれまで以上に地域に開かれた組織を目指し、地域交流事業に力を入れていくことを実践しています。アニマルセラピーで地域交流を深めようと、令和7年1月からビーグル犬でオスのセラピードック『マルコ』くんを職員として採用しました。セラピードックの職員採用は全国的にも珍しい取組とのこと。



プロフィール

- 名前 マルコ
- 犬種 ビーグル
- 生年月日 令和6年7月15日
- 性別 オス
- 出生地 石川県
- その他
異母兄弟の弟がいます

警察犬訓練所で教育を終えたマルコくんは、週休2日制で勤務をしています。住吉偕成会では動物による癒し療法(アニマルセラピー)に着目し、令和5年5月頃から導入を検討してきました。当会での勤務のほか、民生委員を通じてボランティアとしても、地域で生きづらさを感じている方などにアニマルセラピーの効果を感じてもらいたいとのこと。当センターでは、今後、自治会を始めとした地域に向けても活躍の場を拡げていきたいと語ってくれました。

あつ活サポーター 甲府ビルサービス(株)

地域の祭り運営を支援



昨年に引き続き、今年で2回目の活躍です。自治会活動の担い手不足をあつ活サポーターである『甲府ビルサービス株式会社』が支援してくれました。

池田地区の例大祭にて、長松寺南部自治会が出店する夜店の運営を支援してくれたのは、当社の社長と従業員の計6名の皆さんです。自治会の方々からは『企業さんと自治会で連帯感のある運営ができて助かった。今後も協力して欲しい』との感想の声がかれました。



▲甲府ビルサービスの皆さん(ブース前にて)

地震体験会 防災意識の向上



朝日地区では、自治会連合会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会の三団体と甲府市消防団朝日分団の共催で、『地震体験会』を開催しました。起震車も出動して最大震度7の揺れを体験。充満した煙の部屋を通り抜ける体験なども実施されました。県防災センター職員による災害講話では、避難時対応方法を確認しました。子どもの参加者も多く、家族で災害時の対応を確認し合っていました。



▲起震車も出動して震度7を体験

ワード・エクセル入門講座

協働支援センター 研修情報

日 時 令和7年2月19日(水)、20日(木) 午後1時30分~4時
 場 所 甲府市協働支援センター(旧穴切小学校)
 内 容 文書の作成と会計事務で役立つ簡単な表計算などを学びます
 対 象 地域で活動している各種団体の役員の方など
 定 員 各日12名(先着順)
 持ち物 ご自分のパソコンを使って受講したい場合はパソコン
 申込方法 2月17日(月)までに電話で(☎055-231-5537)
 ※2月3日(月)午前10時から受け付けを開始します。

■令和6年11月27日(水)



『魅せるチラシ作成講座』を開催しました。多くの皆さまのご参加、ありがとうございました。

これまでに協働支援センターで実施した研修の詳細情報はこちらから▶

